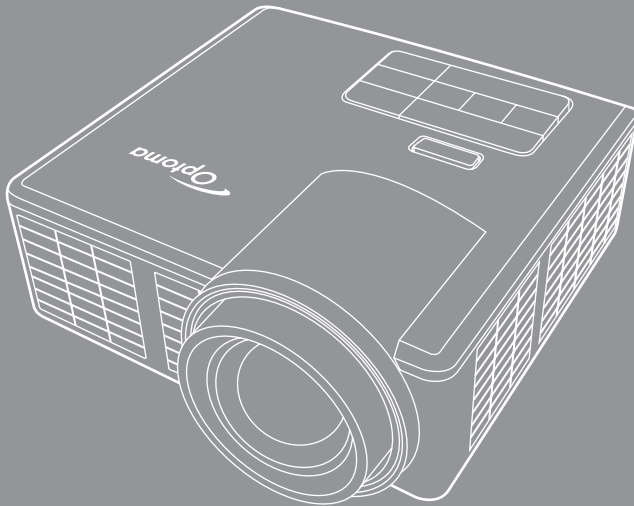




DLP® プロジェクタ



ユーザーマニュアル





内容

安全上のご注意	4
使用目的に関する声明.....	5
安全に関する情報.....	5
安全ラベル.....	7
商標.....	8
ビデオおよびオーディオデコーダに関する注意事項.....	8
規制に関する注意事項.....	9
CEに関する声明.....	10
WEEEに関する声明.....	10
はじめに	11
同梱されているもの.....	11
プロジェクタについて.....	12
本体.....	12
入力/出力接続.....	13
コントロールパネル.....	14
リモコン.....	15
リモコンのバッテリーの取り付け.....	16
リモコンの動作範囲.....	16
設置	17
コンピュータへの接続.....	17
DVDプレーヤーへの接続.....	19
マルチメディアへの接続.....	20
プロジェクターの電源を入れる/切る.....	22
プロジェクタの電源を入れる.....	22
プロジェクタの電源を切る.....	22
投影画像の調整.....	23
プロジェクタの高さを上げる.....	23
プロジェクタの高さを下げる.....	23
プロジェクタのフォーカス調整.....	23
投影画像サイズの調整.....	24
ユーザー制御	26
オンスクリーンディスプレイの使用方法.....	26
メインメニュー.....	26
イメージ.....	27
ディスプレイ.....	28
設定.....	29
詳細設定.....	31

マルチメディアの概要.....	32
写真形式.....	32
ビデオ形式.....	32
オーディオ形式.....	33
Office ビューワー形式.....	33
USBメモリー(フラッシュディスク)を使ってマルチメディアファイルタイプを再生する方法.....	35
マイクロSD...を使ってマルチメディアファイルを再生する方法.....	37
内部メモリーを使ってマルチメディアファイルを再生する方法.....	39
マルチメディアメインメニュー.....	41
システム、USB、マイクロ SD、および、内部メモリーに対するマルチメディア設定.....	41
システム設定.....	42
写真設定.....	43
ビデオ設定.....	44
音楽設定.....	45
その他のマルチメディア接続.....	46
PC からのファイルの投影.....	46
ポータブル機器の画面の投影 (オプションの USB Wi-Fi ドングルを使用).....	48
付録.....	51
トラブルシューティング.....	51
ガイド信号.....	53
互換モード (HDMI/VGA).....	54
プロジェクタの三脚への設置.....	55
仕様.....	56

安全上のご注意

	正三角形内に矢印のある雷の形のマークは、製品の内部に非絶縁型の「危険な電圧」があり、感電の危険がある事をユーザーに警告するのが目的です。
	正三角形内の感嘆符は、本装置の説明書に記載されている操作と保守（修理）に関する重要な指示があることをユーザーに警告するのが目的です。

警告: 火災や感電の危険性を減らすため、この電気器具を雨や湿気にさらさないでください。内部は高圧で危険です。分解しないでください。修理は指定の窓口に相談してください。

クラスB排ガス規制

このクラスBデジタル装置は、カナダのインターフェース関連設備規制のすべの要求事項を満たしています。

重要な安全上の指示

1. どの通気孔もふさがらないでください。プロジェクトを確実に操作できるようにし、高温にならないようにするには、通気孔をふさがらない場所にプロジェクトを設置することをお勧めします。例としては、プロジェクトの周囲に物を置いたり、ソファ、ベッドなどの上にプロジェクトを載せないでください。
2. 水や湿気のあるところでプロジェクトを使用しないでください。火災や感電の危険性を減らすには、プロジェクトを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、アンプなどの 熱源の周辺に設置しないでください。
4. 掃除には、乾いた布だけを使ってください。
5. メーカー指定の取り付け具/付属品のみを使用してください。
6. 装置に物理的損傷があったり、乱暴な使用がされているものは使用しないでください。物理的損傷や乱暴な使用とは以下の通りです。(ただしこれらに限定されません):
 - 装置一式を落としたことがある。
 - 電源コードやプラグが損傷している。
 - 液体をプロジェクトにこぼしたことがある。
 - プロジェクトを雨や湿気にさらしたことがある。
 - 何かがプロジェクトの中に落ちている、またはその内側の何かが緩んでいる。装置一式を自身で修理しないでください。カバーを開けたり、外したりすると、高電圧やその他の危険要因にさらされる可能性があります。装置一式を修理に出す前にコンタクトセンターまでお電話ください。
7. プロジェクトに物や液体が入らないようにしてください。これらが部品に触れることで、火災や感電を引き起こす危険性があります。
8. 安全に関連する印についてはプロジェクトの同封物を参照してください。
9. 本装置の修理は、適切なサービス担当者のみが行う必要があります。

使用目的に関する声明

- 動作温度：
 - 0～2,500 フィート、5 °C～40 °C の範囲
 - 2,500～5,000 フィート、5 °C～35 °C の範囲
 - 5,000～10,000 フィート、5 °C～30 °C の範囲
- 最大湿度：
 - 動作：相対湿度 10 %～80 % (最大)、結露無し
 - 保管：相対湿度 5 %～95 %、結露無し

周囲動作環境に、空中に浮遊する煤煙、グリース、オイル及びプロジェクターの操作や性能に影響を与える可能性があるその他の汚染物質がないようにします。

悪条件下で本製品を使用する場合、製品保証は無効になります。

安全に関する情報

このプロジェクターを使用する前に、この説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

シグナルワードの説明

- | |
|--|
| <p>⚠ 警告: 回避しないと、死亡または重傷及び/または物的損害が生じる可能性がある潜在的に危険な状況を示します。</p> <p>⚠ 注意: 回避しないと、軽傷又は中程度の傷害及び/または物的損害が生じる危険性がある状況を示します。</p> <p>⚠ 警告: 危険電圧</p> |
|--|

⚠ 警告

危険電圧に関連するリスクを減らすために：

- どのような方法でも本製品を改造しないでください。
- このプロジェクターを修理しないでください。
- ユーザーが修理可能な部品はありません。修理は、Optoma認定サービスプロバイダが、Optoma純正の修理部品を使用した場合のみ行うことができます。
- 湿った環境で壁面の電源コンセントを使用しないでください。
- 破損した電源コンセントを使用しないでください。破損した部品を使用前に交換してください。

火災および爆発に関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターに水や飲み物等の液体が、かからない様にしてください。
- Optoma承認の、付属のアダプタや電源ケーブル以外は使用しないでください。

窒息に関連するリスクを減らすために：

- リモコンの電池のようなすべての小さい部品を子供またはペットのそばに置かないようにしてください。

危険な電圧、衝撃、つまずき、そして強烈な可視光線に関連するリスクを減らすために：

- 監視する者のいない子供の周りで、このプロジェクターを使用しないようにします。

⚠ 注意

難聴に関連するリスクを減らすために：

- 音量レベルに関してイヤホンメーカーの説明書を必ず読みます。
- ユーザーは、安全な音量レベル設定の責任を負います。

電池の液漏れによる爆発及び/または化学物質に関連するリスクを減らすために：

- 電池タイプCR2025のみを使用します。
- 電池のプラス (+) およびマイナス (-) 端子をリモコン上のマークに合せます。
- 長時間リモコン内に電池を入れて放置しないようにします。
- 電池を加熱したり、火に曝さないようにします。
- 電池を分解、ショート、または充電しないようにします。
- ポケットまたはバッグに電池をいれて運ばないようにします。
- 電池の液体が漏れた時、眼および皮膚に接触しないようにします。
- 火気の近くまたは非常に暑い環境で電池を充電しないようにします。

環境汚染に関連するリスクを減らすために：

- 各市町村の条例に従い、廃棄してください。

LED高輝度ライトに関連するリスクを減らすために：

- プロジェクターのレンズを直接覗かないようにしてください。

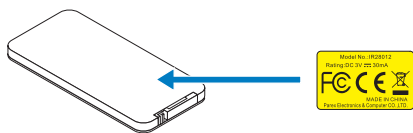
つまずきおよび落下に関連するリスクを減らすために：

- つまずきの危険がないように電源コードおよびデータケーブルを設置してください。

重要な注意：車の中などの閉めきった空間でプロジェクターを直接日光にさらさないでください。

次の説明書を保存してください

安全ラベル



リモコン

モデル番号IR28012

商標

Optoma および Optoma ロゴは、Optoma 社の商標です。Adobe および Adobe ロゴは、米国 および/またはその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。Microsoft、PowerPoint、および Excel は、Microsoft 社の登録商標です。MicroSD および MicroSDHC は SD Association の商標です。

その他すべての商標または登録商標は、各社の所有物です。

ビデオおよびオーディオデコードに関する注意事項

MPEG-4に関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i) MPEG-4 映像標準 (以下、「MPEG-4 ビデオ」という) に準拠してビデオをエンコードすることおよび/または、(ii) 個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードした MPEG-4 ビデオ及び/または MPEG LA から MPEG-4 ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得した MPEG-4 ビデオをデコードすることについて、MPEG-4 映像特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。販売促進、社内および商用的利用およびライセンスに関する追加情報は、MPEG LA, LLC から取得することができます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

AVCビデオに関する注意事項

本製品は、消費者による個人使用および非商業目的で使用するために、(i) AVC 標準 (以下、「AVC ビデオ」という) に準拠してビデオをエンコードすることおよび/または、(ii) 個人使用および非営利活動に従事する消費者がエンコードした AVC ビデオ及び/または AVC ビデオ提供のビデオプロバイダーライセンスを取得した AVC ビデオをデコードすることについて、AVC 特許ポートフォリオライセンスに基づいて使用許諾されています。ライセンスは許諾されておらず、また、その他の用途に関し黙示的に認められていません。追加情報は、MPEG LA, LLC から取得することができます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

MPEGレイヤ3に関する注意事項

本製品の供給は、この製品で作成したMPEGレイヤ3互換コンテンツの収益生成放送システム (地上波、衛星、ケーブル及び/またはその他配信チャンネル)、ストリーミングアプリケーション (インターネット、イントラネット及び/またはその他ネットワーク経由)、その他のコンテンツ配信システム (有料オーディオまたはオーディオデマンドアプリケーションおよびその類似) または物理メディア (CD、DVD、半導体チップ、ハードドライブ、メモ리카ードおよびその類似) への配信に関するライセンスおよび権利を意味するものではありません。そのような利用には、個別のライセンスが必要です。

詳細は、<http://mp3licensing.com>を参照してください。

規制に関する注意事項

FCC声明 - クラスB

本製品はラジオ周波数を発生、使用、放射しますので、説明書通り正しく設置および使用されていない場合はラジオ混信を招く恐れがあります。FCC規則のパート 15 サブパート B に定められたクラス「B」コンピューティングデバイスの制限事項に準拠しており、住宅に設置し操作される場合、干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。ただし、正しくインストールが行われている場合においても、絶対に妨害を招かないという保証はありません。本製品がラジオもしくはテレビ受信に対して妨害を招き、装置の電源を入れたり切ったりすることで、本製品が原因であることが明らかである場合は、以下の要領で妨害の修正を試みて下さい。

- 受信アンテナを再編成するか、位置を移動する。
- 本装置と受信機の間隔を広げる。
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別の電源に接続し直す。
- ラジオ/テレビの専門技師に問い合わせる。

注意：当Class Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

カナダ産業省の規制情報

本装置の操作は以下の条件の対象となります。

- (1) この装置は、干渉を引き起こす場合があります、そして、
- (2) 本装置は操作に有害な干渉を含め、すべての干渉を受けます。

ユーザーは、RF曝露要件を満たすためにこのマニュアルに指定された通りに本装置を使用する必要があることに注意します。このマニュアルに一致しない方法で本製品を使用すると、過度のRF曝露状態につながる可能性があります。

このクラス[B]デジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ユーザーへの指示：本製品は、次の条件を満たすと、FCC機器要件に準拠します。ケーブルにEMIフェライトコアを含める場合は、プロジェクターへのケーブル端にフェライトコア取り付けます。プロジェクターに付属または指定されたケーブルを使用してください。

✖モ：準拠に関する責任当事者の明示的な承認のない変更や修正は、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

IDA標準DA103121に準拠

CEに関する声明

電磁適合性に関する声明: 2004/108/EC 指令に適合

低電圧指令: 2006-95-EC 指令に適合。

WEEEに関する声明

以下の情報は、EUメンバー国用です:

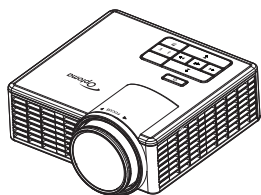
右側に表示されているマークは廃電気電子機器指令2002/96/EC (WEEE) に準拠していません。マークは、地方自治体の廃棄物として機器を廃棄せず、現地の法律に従って適切な回収システムを使用するように要件を示します。



はじめに

同梱されているもの

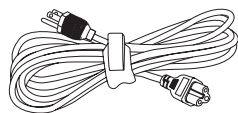
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべてのアイテムがあることを確認し、欠けているものがある場合は、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。



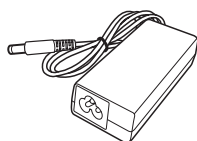
プロジェクタ



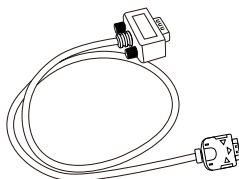
レンズキャップ



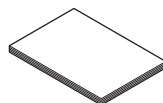
電源ケーブル



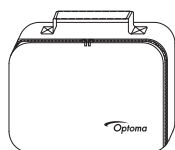
ACアダプタ



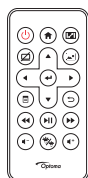
ユニバーサル 24ピン
VGA ケーブル



ベーシックユーザーマニュアル
および文書



キャリングケース

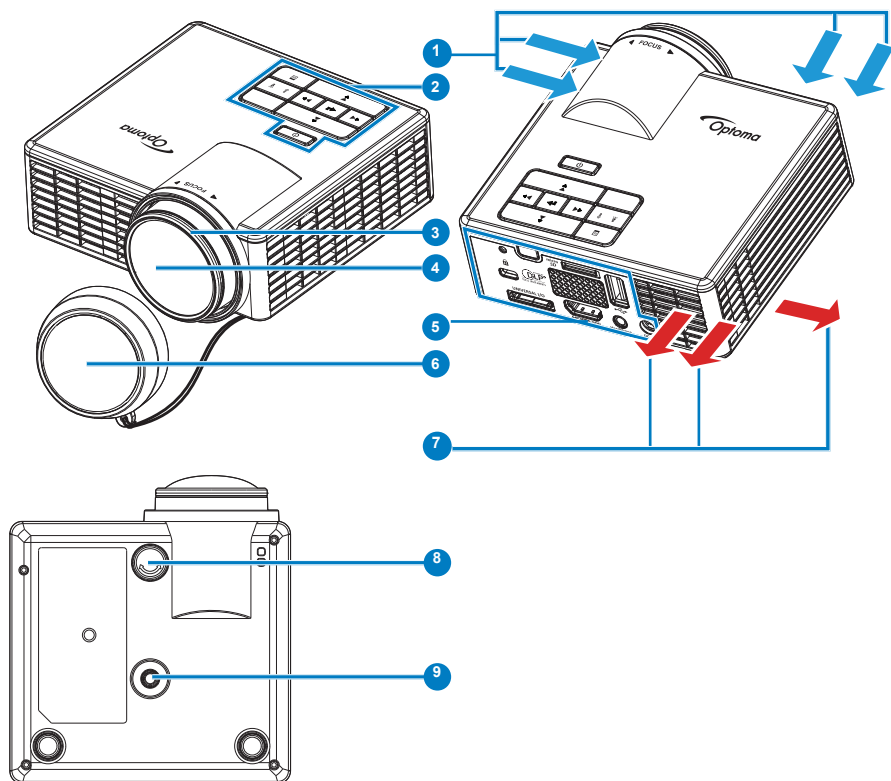


リモコン

メモ: リモコンは、電池付きで出荷されます。

プロジェクタについて

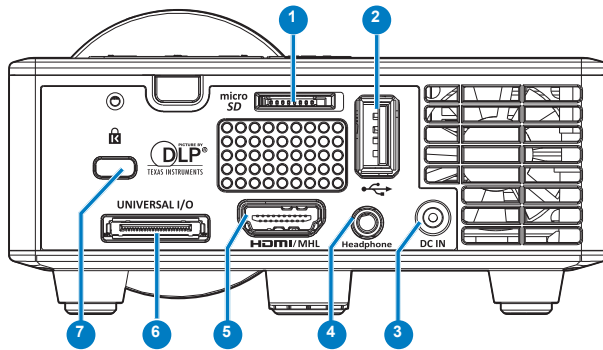
本体



説明

- 1 換気(吸気口)
- 2 コントロールパネル
- 3 フォーカスリング
- 4 レンズ
- 5 入力/出力接続
- 6 レンズキャップ
- 7 換気(排気口)
- 8 傾斜調整ホイール
- 9 三脚用ねじ穴

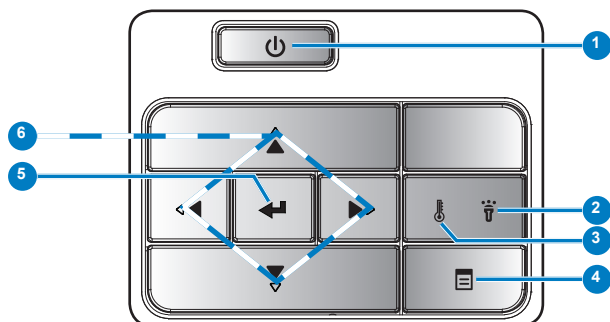
入力/出力接続



説明

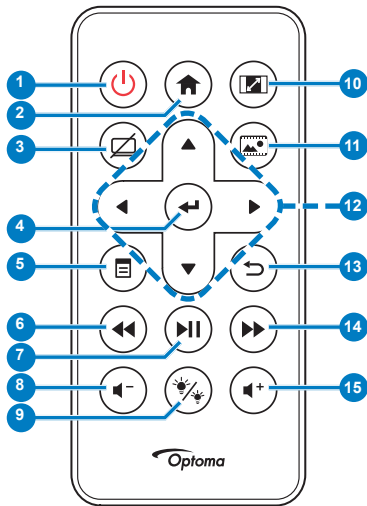
- 1 マイクロSDカードスロット
- 2 USBタイプAコネクタ
- 3 DC入力コネクタ
- 4 ヘッドフォンコネクタ
- 5 HDMI/MHLコネクタ
- 6 ユニバーサルI/Oコネクタ
- 7 セキュリティケーブルスロット

コントロールパネル



#	名称	説明
1	電源	プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。
2	エラーLED	エラーLEDがオレンジ色で点灯している場合、LEDが故障しています。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
3	温度LED	温度LEDのオレンジ色のインジケータが点滅している場合、次の問題のどれかが原因と思われます。 <ul style="list-style-type: none">• プロジェクターの内部温度が高すぎます。• ファンが故障しています。
4	メニュー	このボタンを押してOSDを起動します。方向キーとメニューボタンを使って、OSDを操作します。
5	Enterキー	このボタンを押して選択項目を確定します。
6	4方向選択キー	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

リモコン



#	名称	説明
1	電源 (🔌)	プロジェクトの電源のオン/オフを操作します。
2	ホーム (🏠)	このボタンを押すと、ホームページに戻ります。
3	ミュート (🔇)	このボタンを押して、OSDメニューで選択したミュートオプションに応じて、オーディオまたはビデオをミュート/ミュート解除します (メイン > 設定 > 詳細設定 > ミュート)。
4	Enterキー (↵)	このボタンを押して選択を確定します。
5	メニュー (☰)	このボタンを押してOSDを起動します。
6	巻き戻し (⏮)	押すと、音声ファイル、動画ファイル等の巻き戻しを行います。
7	再生/一時停止 (⏸)	このボタンを押してメディアファイルを再生/一時停止します。
8	音量ダウン (🔊)	このボタンを押して音量を下げます。
9	LEDモード (🌈)	表示モードを選択できます。
10	縦横比 (📏)	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
11	メディアモード (📀)	このボタンを押して、入力ソースをメディアに変更します。
12	上/下/左/右	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を操作します。
13	戻る (⏪)	このボタンを押して、前のページに戻ります。
14	早送り (⏩)	押すと、音声ファイル、動画ファイル等の早送りを行います。
15	音量アップ (🔊)	このボタンを押して音量を上げます。

メモ: ホームおよび戻るボタンは、メディアモードでのみ使用することができます。

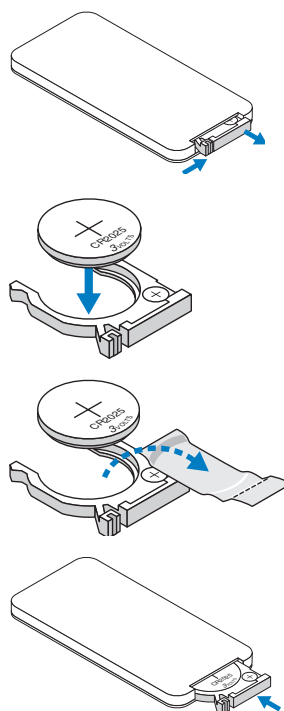
リモコンのバッテリーの取り付け

1. 側面をしっかり押され、バッテリーホルダーを引き出してバッテリーホルダーを取り外します。

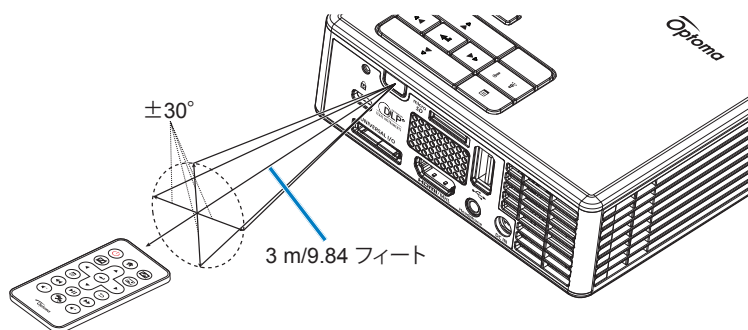
2. CR2025ボタン電池を入れ、バッテリーホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。

メモ: リモコンを初めて使用する際は、バッテリーと端子の間にプラスチックシートが挟んであります。ご使用前にそのシートを取り出してください。

3. バッテリーホルダーを元に戻します。



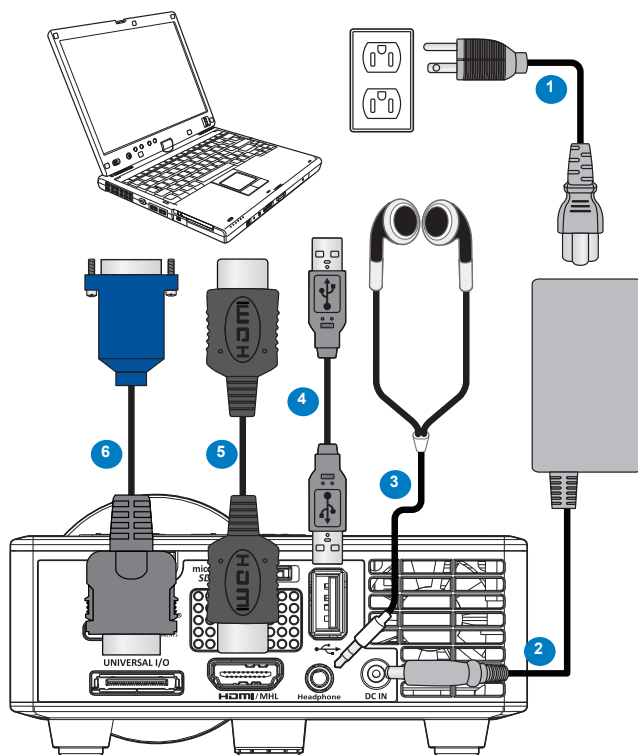
リモコンの動作範囲



メモ: 実際の動作範囲は、図と若干の誤差があります。更に、電池が弱るとリモコンの動作範囲が狭くなったり、リモコンが動作しなくなります。

設置

コンピュータへの接続



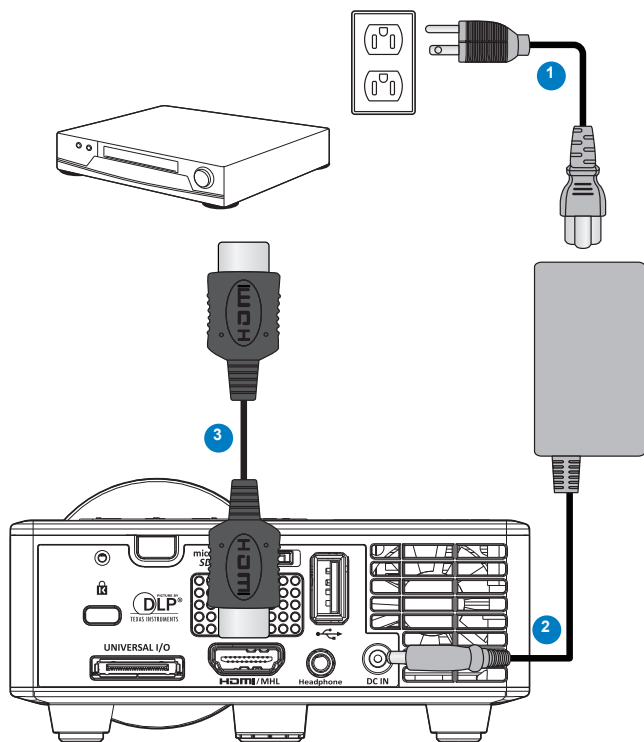
説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 オーディオケーブル (*1)
- 4 USB-A - USB-A ケーブル (*2)
- 5 HDMI ケーブル (*2)
- 6 ユニバーサル 24ピン VGA ケーブル

メモ:

- (*¹) プロジェクタは、TRS タイプのオーディオケーブル (マイク機能無し) のみをサポートします。一部のヘッドセットでは、インピーダンスの違いにより、音量レベルの若干の差が生じる場合があります (低音量)。
- (*²) 付属品はプロジェクタに同梱されません。

DVDプレーヤーへの接続

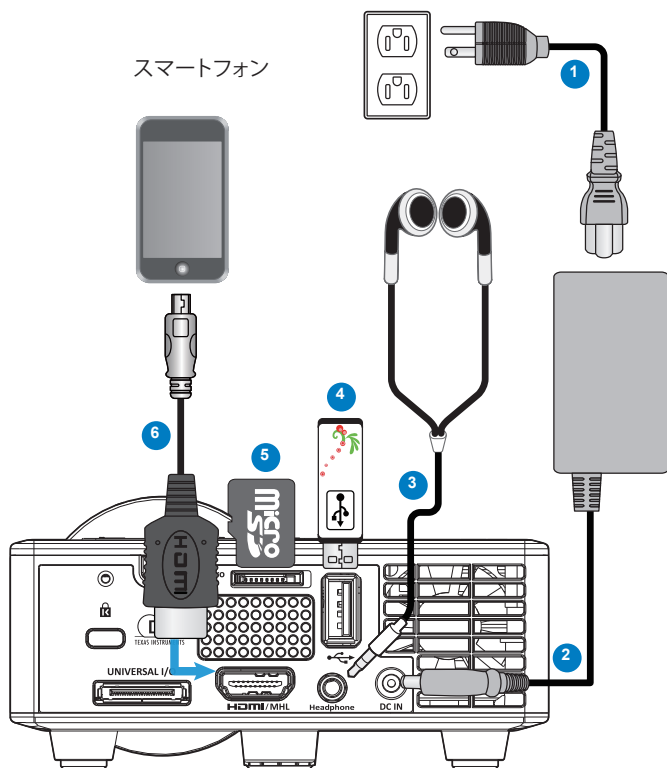


説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 HDMI ケーブル (*2)

メモ: (*2) 付属品はプロジェクトに同梱されません。

マルチメディアへの接続



説明

- 1 電源コード
- 2 ACアダプタ
- 3 オーディオケーブル (*1)
- 4 USB フラッシュディスク (*2)
- 5 マイクロ SD カード (*2)
- 6 MHL ケーブル (*2)

メモ:

- (*1) プロジェクタは、TRS タイプのオーディオケーブル (マイク機能無し) のみをサポートします。一部のヘッドセットでは、インピーダンスの違いにより、音量レベルの若干の差が生じる場合があります (低音量)。
- (*2) 付属品はプロジェクタに同梱されません。

プロジェクターの電源を入れる/切る

プロジェクタの電源を入れる

メモ: プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース(コンピュータ、DVDプレーヤーなど)の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンはオレンジ色に点滅します。

1. ACアダプタと一緒に電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。
2. レンズキャップを外します。
3. 電源ボタンを押します。
4. ソース(コンピュータ、DVDプレーヤーなど)の電源を入れます。
5. 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。
6. 入力ソースは、前回接続した入力ソースで決まります。(デフォルトで、プロジェクタの入力ソースはマルチメディアに設定されています)。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。

プロジェクタの電源を切る

メモ: 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージは5秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消す事ができます。

1. 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。
2. 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが3～5秒間作動します。
3. コンセントとプロジェクタから電源ケーブルとACアダプタを外します。

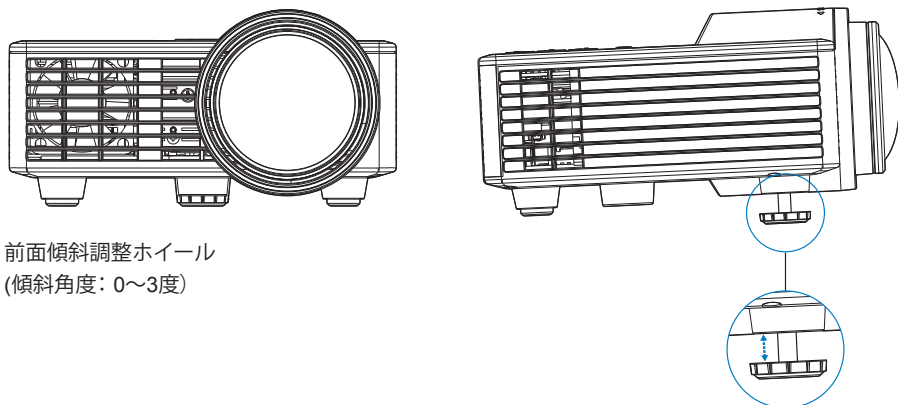
投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

プロジェクタを任意の高さまで上げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

プロジェクタを下げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

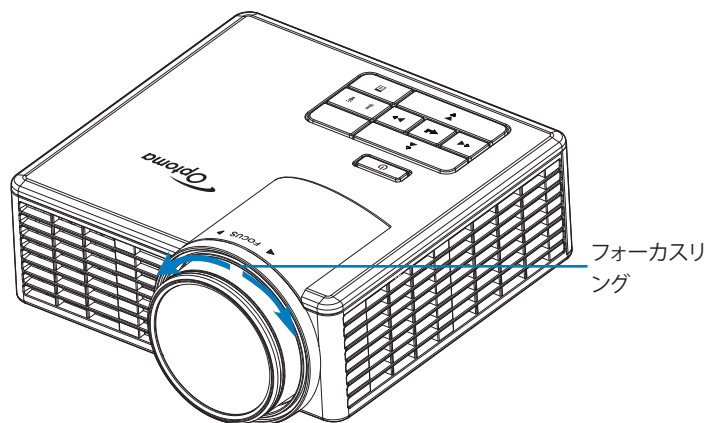


前面傾斜調整ホイール
(傾斜角度: 0~3度)

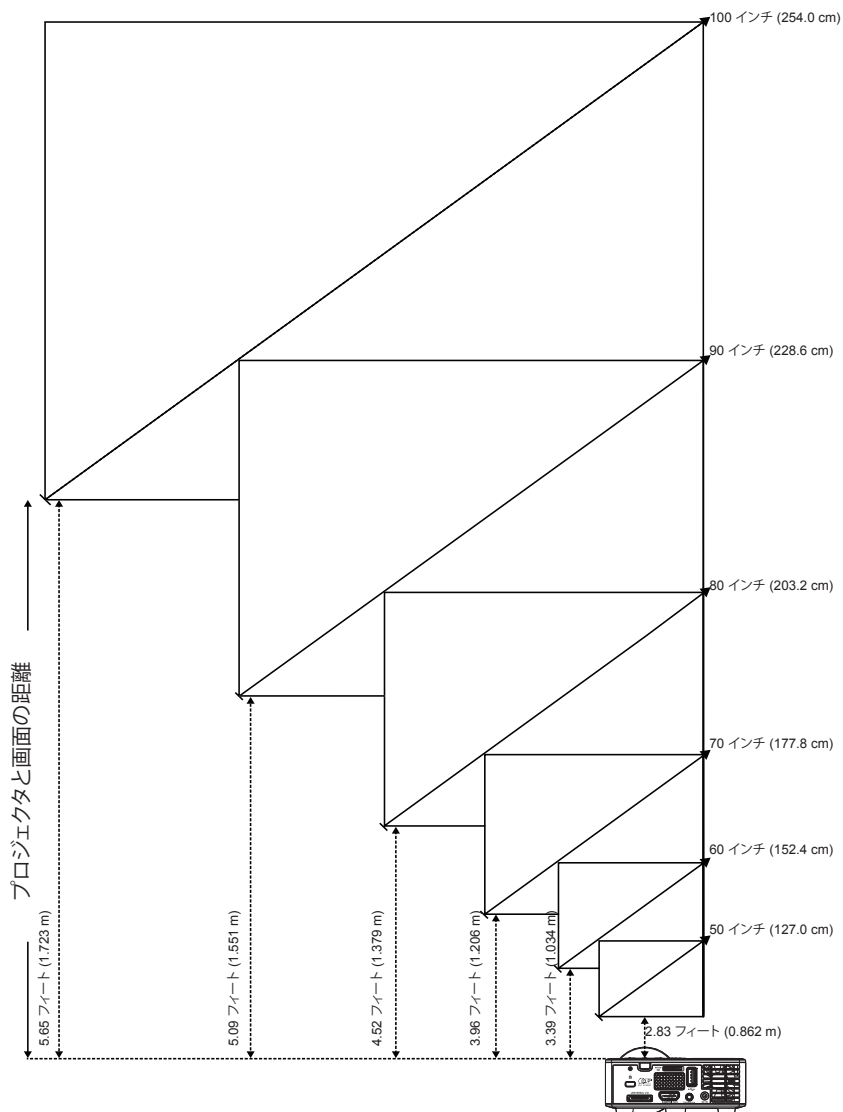
重要な注意: プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、調整ホイールが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

プロジェクタのフォーカス調整

画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は、86 cm ~ 172 cmです。

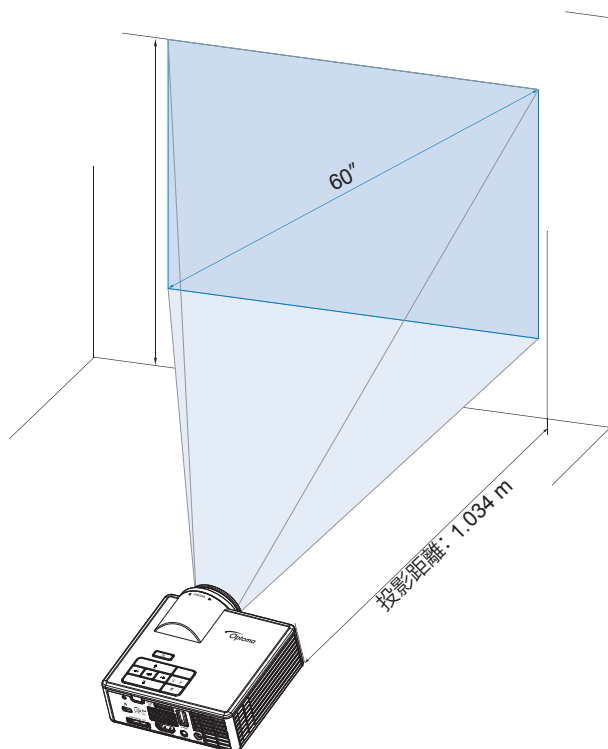


投影画像サイズの調整



画面サイズ			投影距離
対角	幅	高さ	
50 インチ (127.0 cm)	42.52 インチ (108 cm)	26.38 インチ (67 cm)	2.83 フィート (0.862 m)
60 インチ (152.4 cm)	50.79 インチ (129 cm)	31.89 インチ (81 cm)	3.39 フィート (1.034 m)
70 インチ (177.8 cm)	59.45 インチ (151 cm)	37.01 インチ (94 cm)	3.96 フィート (1.206 m)
80 インチ (203.2 cm)	67.72 インチ (172 cm)	42.52 インチ (108 cm)	4.52 フィート (1.379 m)
90 インチ (228.6 cm)	76.38 インチ (194 cm)	47.64 インチ (121 cm)	5.09 フィート (1.551 m)
100 インチ (254.0 cm)	84.65 インチ (215 cm)	53.15 インチ (135 cm)	5.65 フィート (1.723 m)

メモ: このグラフはユーザーの参照用です。



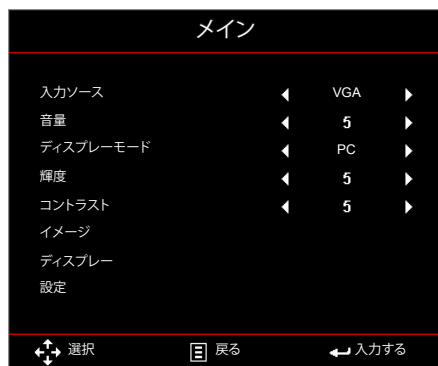
ユーザー制御

オンスクリーンディスプレイの使用方法

1. プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
2. コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押して「メインメニュー」に移動します。
3. オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの **○** または **○** ボタンを押します。
4. コントロールパネルまたはリモコンの **○** または **○** ボタンを使って設定を調整します。
5. OSDを終了するには、コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを直接押します。

メインメニュー

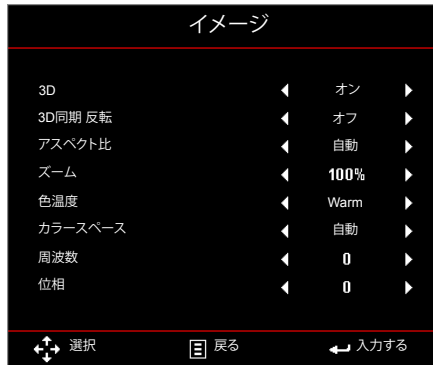
メニューメニューを使って、入力ソースの選択、音量の調整、ディスプレイモードの選択、輝度、コントラスト、画像、表示の設定、および、設定のセットアップを行うことができます。



- **入力ソース**: プロジェクタの入力ソースを選択します。オプション: **VGA**、**HDMI/MHL**、**Media**。
- **音量**: 音量を調整します。
メモ: オーディオ出力は、VGA モードではサポートされません。
- **ディスプレイモード**: 表示画像を最適化します。オプション: **ブライト**、**PC**、**シネマ/iDevice***、**フォト**、**エコ**。
メモ: * **iDevice**オプションは、**シネマ**オプションを入力ソースが**HDMI**で、**iDevice**オプション (**メイン** > **設定** > **詳細設定**) が有効である場合、選択可能になります。
- **輝度**: 画像の輝度を調整します。
- **コントラスト**: 表示コントラストを調整します。

イメージ

イメージメニューを使って、3D、アスペクト比、ズーム、色温度、カラースペースなどの様々な画像設定を変更することができます。



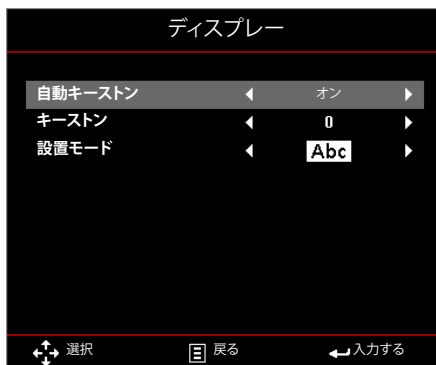
- **3D:** 3D 機能のオン/オフを切り替えます。
- **3D同期 反転:** 3D 同期反転オプションのオン/オフを切り替えます。
メモ:
 - 画像設定を選択している時は、3D/3D 同期反転を変更することはできません。
 - 3D モードでは、サポートされる最大入力タイミングは 1024x768 @ 120Hz です。
- **アスペクト比:** 画像のアスペクト比を選択します。オプション:
 - 自動: 入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
 - 4:3: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3画像を投影します。
 - 16:9: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9画像を投影します。
 - 16:10: 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 画像を投影します。
- **ズーム:** 画像をズームインまたはズームアウトします。オプション: 50 %、75 %、100 %、125 %、150 %、175 %、200 %。
- **色温度:** 色温度を選択します。オプション: **Warm、Medium、Cold**。
メモ: 色温度機能は、明るさ、エコ、3D モードではサポートされません。
- **カラースペース:** 適切な色マトリクスタイプを選択します。オプション: **自動、RGB、YUV**。
メモ: カラースペース機能は、HDMI モードでのみサポートされます。
- **周波数:** ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。
メモ: 周波数は、VGA モードでのみ調整することができます。
- **位相:** ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れた

りちらついたりする場合は、位相を使って修正します。これは微調整です。

メモ: 位相は、VGA モードでのみ調整することができます。

ディスプレイ

ディスプレイメニューを使って、キーストンや設置モードなどの表示設定を変更することができます。



- **自動キーストン:** オンを選択すると、 프로젝タを傾けた場合の歪みを自動的に調整します。

メモ: 自動キーストン機能は、垂直方向の画像の歪みを調整するためにのみ使用することができます。

- **キーストン:** プロジェクタの傾きによって起こる歪みを調整します (± 40 度)。

メモ: キーストンの度合いを手動で調整する場合は、自動キーストン機能は自動的にオフに切り替わります。

- **設置モード:** プロジェクタの取り付け方法に応じて、投影モードを選択します。

- **自動キーストン:** オンの場合

Abc 反転なし

∩dA 左右反転

- **自動キーストン:** オフの場合

Abc 反転なし

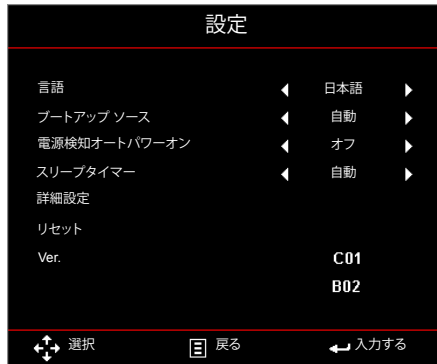
∩dA 左右反転

∩q∇ 上下反転

∇p∩ 上下および左右反転

設定

セットアップメニューを使用して、デフォルト OSD 言語の選択、ブートアップ ソースの変更、スリープタイマーおよびその他のオプションの設定を行うことができます。



- **言語:** OSD の言語を選択します。オプション: 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、ロシア語、スウェーデン語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語およびトルコ語。

- **ブートアップ ソース:** プロジェクタの起動ソースを選択します。オプション: **自動**、VGA、HDMI/MHL、およびMedia。

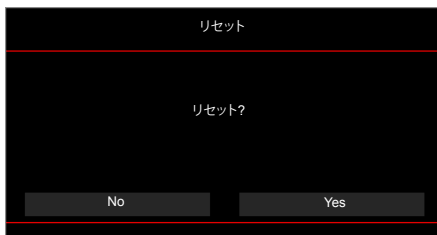
メモ: ブートアップ ソースが「自動」に設定されている場合、プロジェクタの起動時に、入力ソースは、常に、前セッションと同じに選択されます。

- **電源検知オートパワーオン:** オンを選択して、ダイレクトパワーモードを起動します。プロジェクタコントロールパネルまたはリモコンで**電源**ボタンを押さなくても、AC 電力の供給時にプロジェクタの電源が自動的に入ります。

- **スリープタイマー:** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終わると、プロジェクターの電源が自動的に切れます。オプション: **自動**、**オフ**、**30分**、**1時間**、**3 時間**、**8 時間**、**12時間**。

メモ: スリープタイマーが「自動」に設定され、信号が検出されない場合、プロジェクタは、15 分後に自動的に電源オフになります。

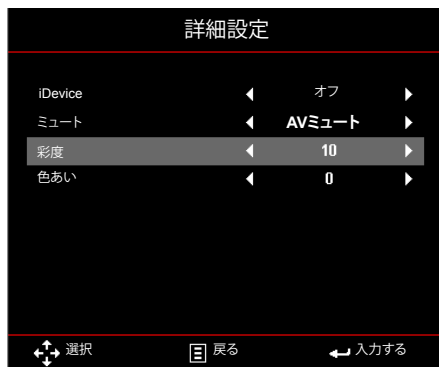
- **リセット:** コンピュータソースおよびビデオソース設定を含むすべての設定を出荷時にリセットします。このオプションを選択すると、確認メッセージが画面上に表示されます。「Yes」を選択して、リセットを確認するか、「No」を選択してキャンセルします。



- **Ver.:** プロジェクタの現在のファームウェアバージョンを表示します。

詳細設定

詳細メニューを使って、iDevice、ミュート、彩度、および、色あいの設定を変更することができます。



- **iDevice:** オンを選択して、ライトニング HDMI アダプタを通して、iDevice (iPhone/ iPad/ iPod) からの画像を投影する際、最適な色を再現して表示します。
メモ: iDevice からの画像を投影する場合は、ライトニング HDMI アダプタを介してデバイスをプロジェクトに接続し、入力ソースをHDMIに設定し、iDeviceオプションを有効にし(メイン > 設定 > 詳細設定)、iDeviceを表示モードに設定します(メイン > ディスプレーモード)。
- **ミュート:** ミュートモードを選択します。オプション: **AVミュート**(オーディオとビデオの両方をミュート)、**オーディオ**(オーディオのみをミュート)、および、**ビデオ**(ビデオのみをミュート)。
メモ: リモコンの**ミュートボタン** (Ⓜ) の機能は、OSD メニューで選択した「ミュート」オプションに依存します。
- **彩度:** 画像の彩度を調整します。
メモ: 彩度は、ビデオタイミング 1080p/i、720p、および、480p/i をサポートする HDMI モードでのみ調整することができます。
- **色あい:** 画像の色合いを調整します。
メモ: 色合いは、ビデオタイミング 1080p/i、720p、および、480p/i をサポートする HDMI モードでのみ調整することができます。

マルチメディアの概要

サポートされているマルチメディア形式:

写真形式

画像タイプ(拡張子 名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	4000x4000=16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	4000x4000=16,000,000 ピクセル
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
BMP			4000x4000=16,000,000 ピクセル

ビデオ形式

ファイル形式	ビデオ形式	デコード最大 解像度	最大ビットレ ー (bps)	オーディオ形式	プロフィール
MPG、MPEG	MPEG1	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3	
AVI、MOV、 MP4、MKV	H.264	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1 AC3	BP/MP/HP
AVI、MOV、 MP4、	MPEG4	1920x1080 30fps	30M bps	HE-ACC v1	SP/ASP
AVI、MOV、 MP4、	Xivd	1920x1080 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	HD
AVI	MJPEG	8192x8192 30fps	30M bps	MPEG1 L1-3 HE-ACC v1	ベースライン
WMV	VC-1	1920x1080 30fps	30M bps	WMA8/9(V1/ v2)	SP/MP/AP

オーディオ形式

音楽タイプ(拡張子名)	サンプリングレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
ADPCM-WAV(WAV)	8-48	32-384
PCM-WAV(WAV)	8-48	128-1536
AAC	8-48	8-256

Office ビューワー形式

ファイル形式	サポートバージョン	ページ/行の制限	サイズの制限
Adobe PDF	PDF 1.0、1.1、1.2、1.3、1.4	最大1,000ページ(1つのファイル)	最大75MByte
MS Word	British Word 95、 Word 97、2000、2002、2003 Word 2007 (.docx)、 Word2010(.docx)、	Office ビューアーは、MS Word ファイルのすべてのページを同時に読み込むわけではないため、ページと行に明白な制限はありません。	最大100MByte
MS Excel	British Excel 5、95 Excel 97、2000、2002、2003 Excel 2007(.xlsx)、 Excel 2010(.xlsx)	行の制限:最大595 列の制限:最大256 シート:最大100	最大15MByte
	Office XP Excel	メモ: 上記の3つの制限のいずれかが同時に一つの Excel ファイルに存在することはできません。	

ファイル形式	サポートバージョン	ページ行の制限	サイズの制限
MS PowerPoint	British PowerPoint 97	最大1,000ページ(1つのファイル)	最大19MByte
	PowerPoint 2000、2002、2003		
	PowerPoint 2007 (.pptx)		
	PowerPoint 2010 (.pptx)		
	Office XP PowerPoint		
	PowerPointプレゼンテーション2003およびそれ以前のバージョン(.ppx)		
	PowerPointプレゼンテーション2007および2010(.ppsx)		

メモ:

- MS PowerPoint ファイルを表示する際、アニメーションはサポートされません。
- ファイルを投影する際、一部の文書は、PC の画面と同じように表示されない場合があります。

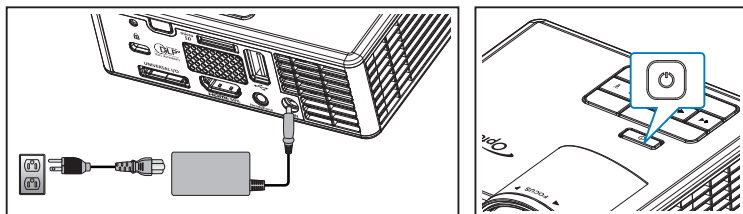
USBメモリー(フラッシュディスク)を使ってマルチメディアファイルタイプを再生する方法

メモ:

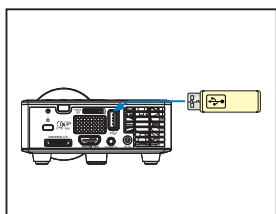
1. USBメモリー(フラッシュディスク)内のマルチメディアファイルを再生するには、プロジェクトにUSBメモリー(フラッシュディスク)を接続する必要があります。
2. 互換性の問題があることから、USBポートとカメラを接続しないでください。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



2. USBフラッシュディスクをプロジェクトに差し込みます。



マルチメディアメニューが開きます。

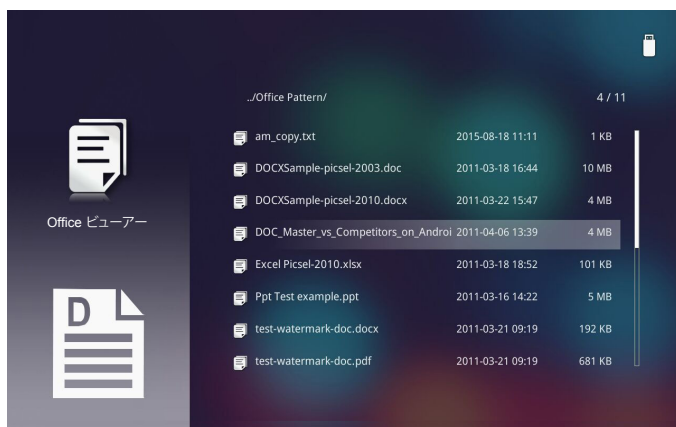


メモ: メインメニューを開くには、リモコンのメニューボタンを押すか、プロジェクトのコントロールパネルのメニューボタンを1秒間長押しします。

3. **HD メディア**メニューを選択します。
HD メディアメニューが開きます。



4. **USB**メニューにアクセスし、マルチメディアファイルを選択します：**フォト**、**ビデオ**、または**音楽**。または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、または**音楽**に対する設定を変更します。
5. 開くファイルを選択します。



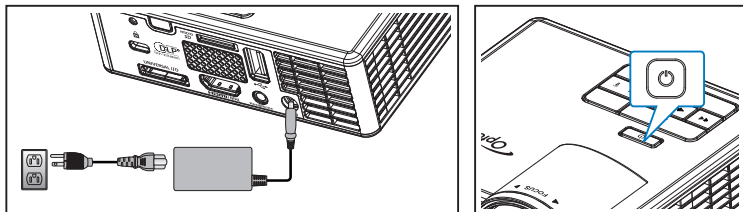
メモ: 許容される最大ファイル名の長さは 28 文字です。

マイクロSDを使ってマルチメディアファイルを再生する方法

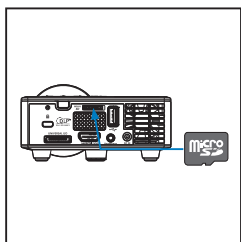
メモ: マイクロSDカード内のマルチメディアファイルを再生するには、プロジェクトにマイクロSDカードを入れる必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



2. マイクロSDカードをプロジェクトに差し込みます。

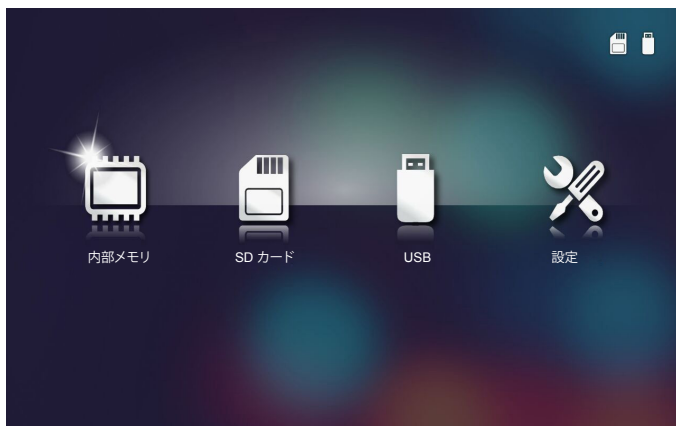


マルチメディアメニューが開きます。

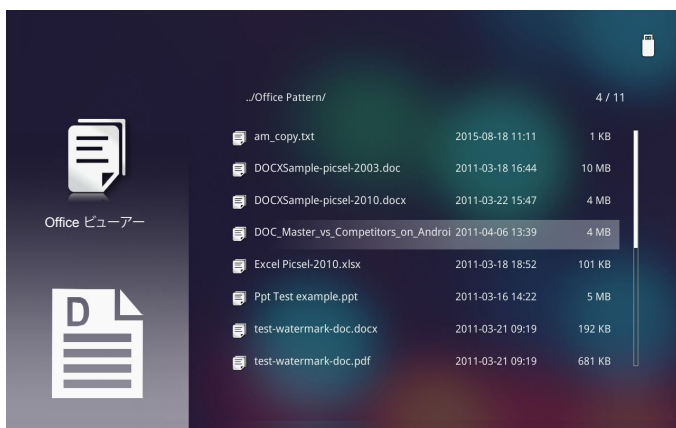


メモ: メインメニューを開くには、リモコンのメニューボタンを押すか、プロジェクトのコントロールパネルのメニューボタンを1秒間長押しします。

3. **HD メディアメニュー**を選択します。
HD メディアメニューが開きます。



4. **SD カードメニュー**にアクセスし、マルチメディアファイルを選択します: **フォト**、**ビデオ**、**音楽**。または、**設定**オプションを選択して、**フォト**、**ビデオ**、**音楽**に対する設定を変更します。
5. 開く**ファイル**を選択します。



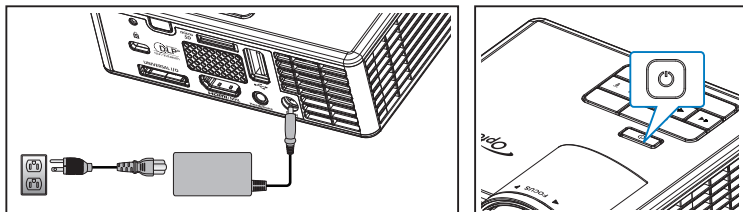
メモ: 許容される最大ファイル名の長さは 28 文字です。

内部メモリーを使ってマルチメディアファイルを再生する方法

メモ: 内部メモリー内のマルチメディアファイルを再生するには、プロジェクターの内部メモリーにマルチメディアファイルをあらかじめコピーしておく必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクターで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。

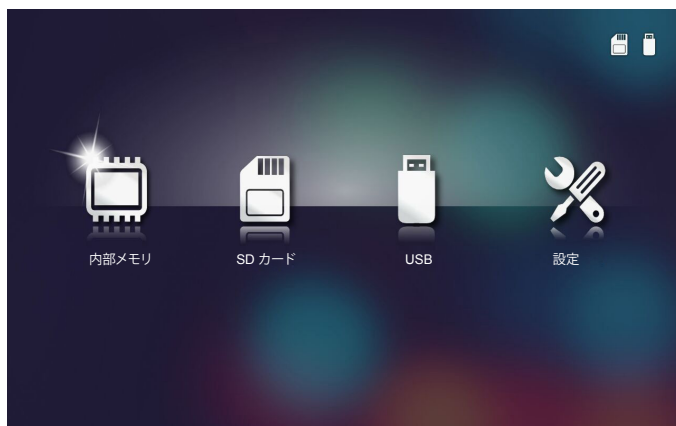


マルチメディアメニューが開きます。

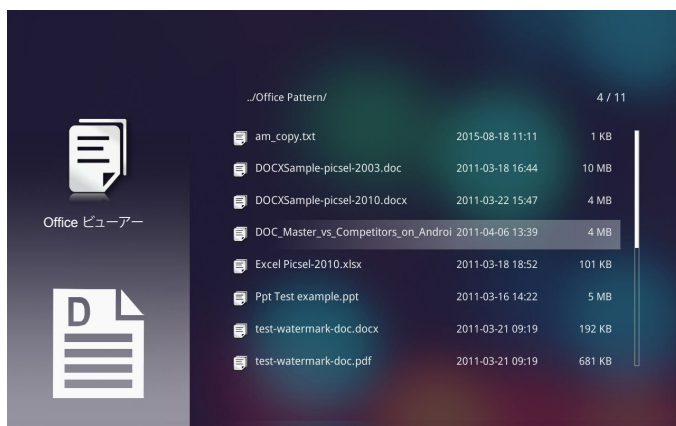


メモ: メインメニューを開くには、リモコンのメニューボタンを押すか、プロジェクターのコントロールパネルのメニューボタンを1秒間長押しします。

2. **HD メディアメニュー**を選択します。
HD メディアメニューが開きます。



3. **内部メモリメニュー**にアクセスし、**マルチメディアファイル**を選択します：**フォト、ビデオ、音楽**。または、**設定オプション**を選択して、**フォト、ビデオ、音楽**に対する設定を変更します。
4. **開くファイル**を選択します。



メモ: 許容される最大ファイル名の長さは 28 文字です。

マルチメディアメインメニュー



システム、USB、マイクロ SD、および、内部メモリーに対するマルチメディア設定

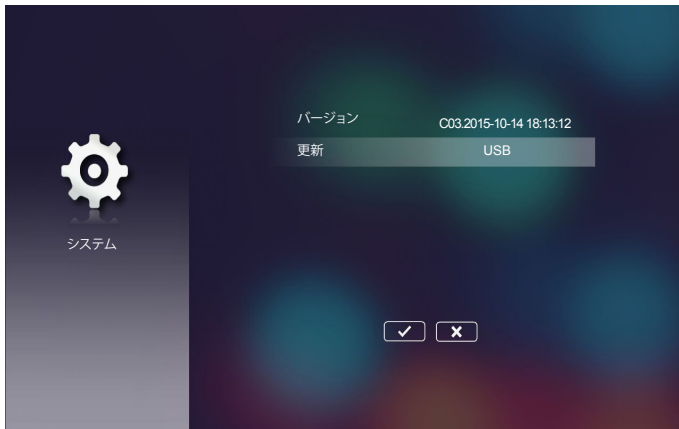
マルチメディア設定メニューを使って、システム、フォト、ビデオ、および、音楽に対する設定を変更することができます。



メモ: USB、MicroSD、および内部メモリーに対するマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。

システム設定

システム設定メニューにアクセスします。システム設定メニューには、次のオプションがあります：



- **バージョン**
プロジェクトの現在のファームウェアを表示します。
- **更新**
プロジェクトのファームウェアを **USB** (メモリー)から更新します。

写真設定

写真設定メニューにアクセスします。写真設定メニューには次のオプションがあります：



■ 表示比

写真のディスプレイ比を**オリジナル**のまま、または**全画面**として選択します。

■ スライドショーパターン

スライドショー効果を選択します。オプション：**ランダム**、**リング拡散**、**真ん中の拡大**、**プリントクの拡張**、**日よけ**、**線形相互作用**、**クロスインターリーブ**、**バンディング代替**、**長方形の拡大**。

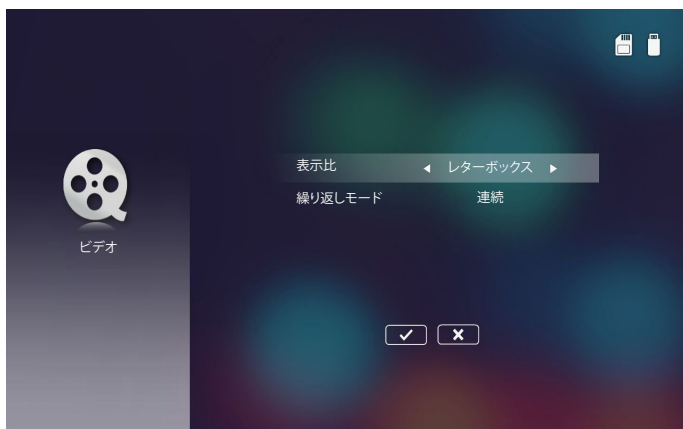
■ スライドショーの時間

スライドショーの時間を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：**10秒**、**30秒**、**1分**。

メモ：スライドショーの時間およびスライドショーパターン機能のみがスライドショーモードに対応しています。

ビデオ設定

ビデオ設定メニューにアクセスします。ビデオ設定メニューには、次のオプションがあります：



■ 表示比

ビデオのディスプレイ比を選択します。

- **レターボックス**：ビデオソースが 16:10 画面に合わない場合、ビデオ画像は、画面に合うように水平方向および垂直方向に均等に伸ばされます。したがって、ビデオの一部が上側と下側 (左側と右側) で切り取られ、ビデオの周りに「黒い領域」として表示されます。
- **カット画面**：選択して、スケーリングのないネイティブ解像度でビデオを表示します。投影される画像がスクリーンサイズを超えている場合、切り取られます。
- **全画面**：ネイティブ縦横比に関わらず、16:10 が画面に正確に合うように、ビデオ画像は水平方向および垂直方向に非線形的に伸ばされます。ビデオ画像の周りに「黒い領域」は表示されませんが、元のコンテンツの割合は変形している場合があります。
- **元の画面**：選択して、スケーリングのないネイティブ解像度でビデオ画像を表示します。ビデオ解像度が 1280x800 未満の場合は、ビデオ画像の周りに「黒い領域」が表示されます。解像度が 1280x800 を超える場合は、ビデオは 1280x800 解像度で表示されます。

■ 繰り返しモード

ビデオの繰り返しモードを選択します。オプション：**連続**、**シングル**、**ランダム**、**一回**。

音楽設定

音楽設定メニューにアクセスします。音楽設定メニューには、次のオプションがあります：



■ 繰り返しモード

音楽再生モードを選択します。オプション：**連続**、**シングル**、**ランダム**。

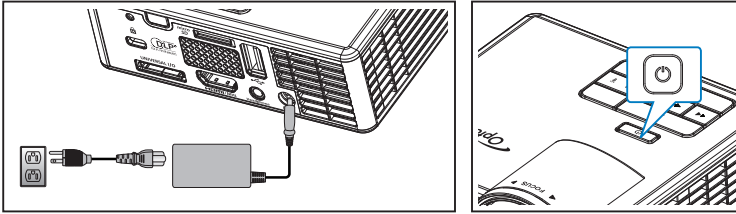
その他のマルチメディア接続

マルチメディアメニューを使って、PC からのファイルを投影したり、ポータブル機器の画面を投影したりすることができます。

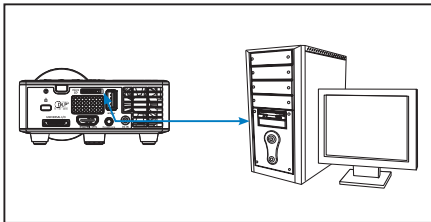
PC からのファイルの投影

次の手順に従い、PC からのファイルを投影します：

1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



2. PC のハードディスクのファイルにアクセスするには、USB-A ケーブルの一端を PC に、USB ケーブルの他端をプロジェクタに差し込みます。



マルチメディアメニューが開きます。



3. PCへの接続メニューを選択します。
PCへの接続メニューが開きます。



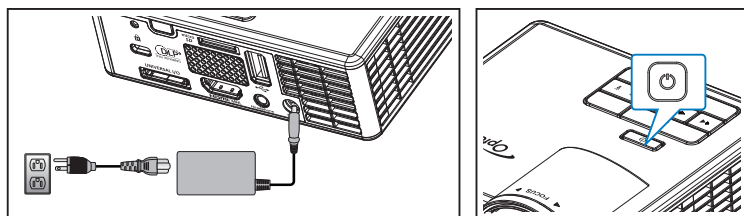
4. 壁に投影するファイルを選択します。

ヒント: また、Windows 10 および Mac OS 10.9 では、PC からのファイルをプロジェクタの内部メモリ、または、プロジェクタに挿入したマイクロ SD カードに直接保存することができます。

ポータブル機器の画面の投影 (オプションの USB Wi-Fi ドングルを使用)

次の手順に従い、ポータブル機器の画面を投影します：

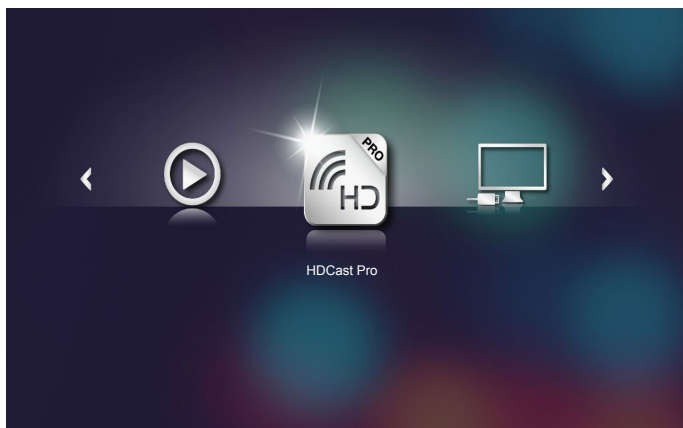
1. ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



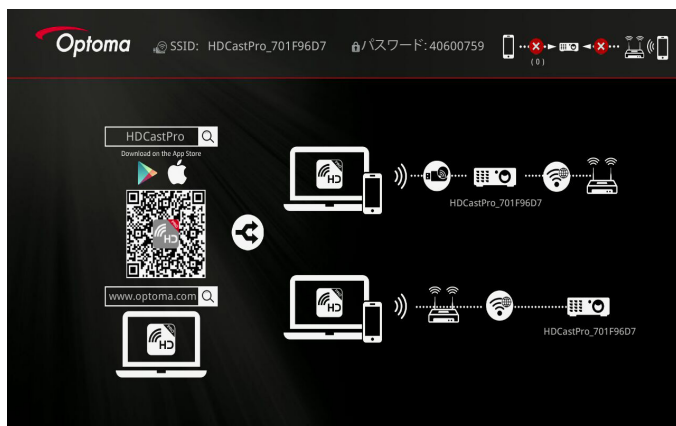
マルチメディアメニューが開きます。



2. HD Cast Pro メニューを選択します。



HDCast Pro メニューが開きます。

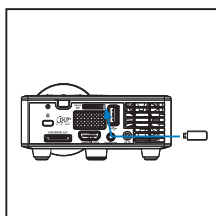


3. 次のいずれかを行います:

- ポータブル機器のオペレーティングシステムに応じて、**App Store** (iOS) または **Google Play** (Android) を開き、**HDCast Pro** アプリをモバイル機器にインストールします。
- モバイル機器を使って、**HDCast Pro** メニューの QR コードをスキャンし、画面上の指示に従い **HDCast Pro** アプリをインストールします。
ノートパソコンを使用される場合は、**HDCast Pro** アプリを www.optoma.com/hdcastpro Web サイトからダウンロードしてください。



4. Wi-Fi ドングル (オプション) をプロジェクトに差し込みます。



5. ポータブル機器を Wi-Fi を介してプロジェクトに接続します。接続パラメータの例は次の通りです:

- プロジェクトの SSID: **HDCastPro_701F96D7**
- Wi-Fi パスワード: **40600759**

メモ: プロジェクトの SSID および Wi-Fi パスワードは、接続する Wi-Fi ドングルにより異なります。

6. ポータブル機器で **HDCast Pro** アプリを開きます。

次の画面が開きます。



7. メニューから **HDMirror (Android)** を選択し、ポータブル機器の画面の投影を開始します。

付録

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解決しない場合は、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

問題	解決方法
画面に画像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none">プロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。OSD メイン > 入力ソースメニューで正しい入力ソースを選択していることを確認してください。外部出力が有効になっていることを確認します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none">解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクタを再起動します。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。
画面にプレゼンテーションが表示されない。	<ul style="list-style-type: none">ノートパソコンをお使いの場合は、を押して、出力設定を切り替えます。例：[Fn]+[F4]キー。
画像が不安定、または、ちらつく。	<ul style="list-style-type: none">OSD メイン > イメージ > 位相メニュー (PC モードのみ) で位相を調整します。
画像に縦線が入る。	<ul style="list-style-type: none">OSD メイン > イメージ > 周波数メニュー (PC モードのみ) で周波数を調整します。
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none">プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (2.82 フィート [86 cm] ~ 5.64 フィート [172 cm])。
16:9 DVDを表示すると画像が伸びる。	<ul style="list-style-type: none">プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。画像がそれでも伸びる場合は、OSD の メイン > イメージ > アスペクト比メニューでフォーマットを調整してください。

問題	解決方法
<p>オレンジ色のLED警告インジケータ(LED)が点灯しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタのLEDが故障したため、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は販売店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。
<p>オレンジ色のTEMP警告インジケータ(LED)が点滅しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は販売店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。 • プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間長押しすることで、プロジェクタモードをリセットしてください。5分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は販売店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。
<p>リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電池の残量が少なくなっています。その場合、新しいCR2025電池と交換します。

ガイド信号

プロジェクトステータス	説明	電源 (青/オレンジ色)	TEMP警告 (オレンジ色)	LED警告 (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	オレンジ色	オフ	オフ
電源オン	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。	青	オフ	オフ
プロジェクトが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が35°Cを超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口がふさがれておらず、周囲の温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は販売店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。	オレンジ色の点滅と青色の点灯	オレンジ色点滅 (オフは1秒、オンは3秒という周期です)	オフ
ファンが故障しています	ファンが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は販売店またはコンタクトセンターまでお問い合わせください。	オレンジ色の点滅と青色の点灯	オレンジ色点滅 (オフは0.5秒、オンは2秒という周期です)	オフ
LED故障	LEDがシャットダウンしています。	オフ	オフ	オレンジ色

メモ: ファントラブルがある場合、温度 LED がオレンジ色に点滅します (2 秒間オン/0.5 秒間オフ)。プロジェクトのファンが故障すると、プロジェクトは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間長押しして、プロジェクトモードをリセットしてください。5分間待ってから、再び電源をオンにしてください。

互換モード (HDMI/VGA)

信号	モード	解像度	リフレッシュレート (Hz)
HDMI、VGA (ユニバーサルポート経由)	VGA	640 x 480	60/75
	SVGA	800 x 600	60/75/120(*)
	XGA	1024 x 768	60/75/120(*)
	SXGA	1280 x 1024	60/75
	WXGA	1280 x 768	60/75
	WXGA	1280 x 800	60
	WXGA	1366 x 768	60
	WXGA+	1440 x 900	60/75
	SXGA+	1400 x 1050	60
	WSXGA+	1680 x 1050	60
HDMI、YPbPr (ユニバーサルポート経由)	480i	720 x 480	30
	480p	720 x 480	60
	576i	720 x 576	25
	576p	720 x 576	50
	720p	1280 x 720	50/60
	1080i	1920 x 1080	25/30
	1080p	1920 x 1080	24/50/60

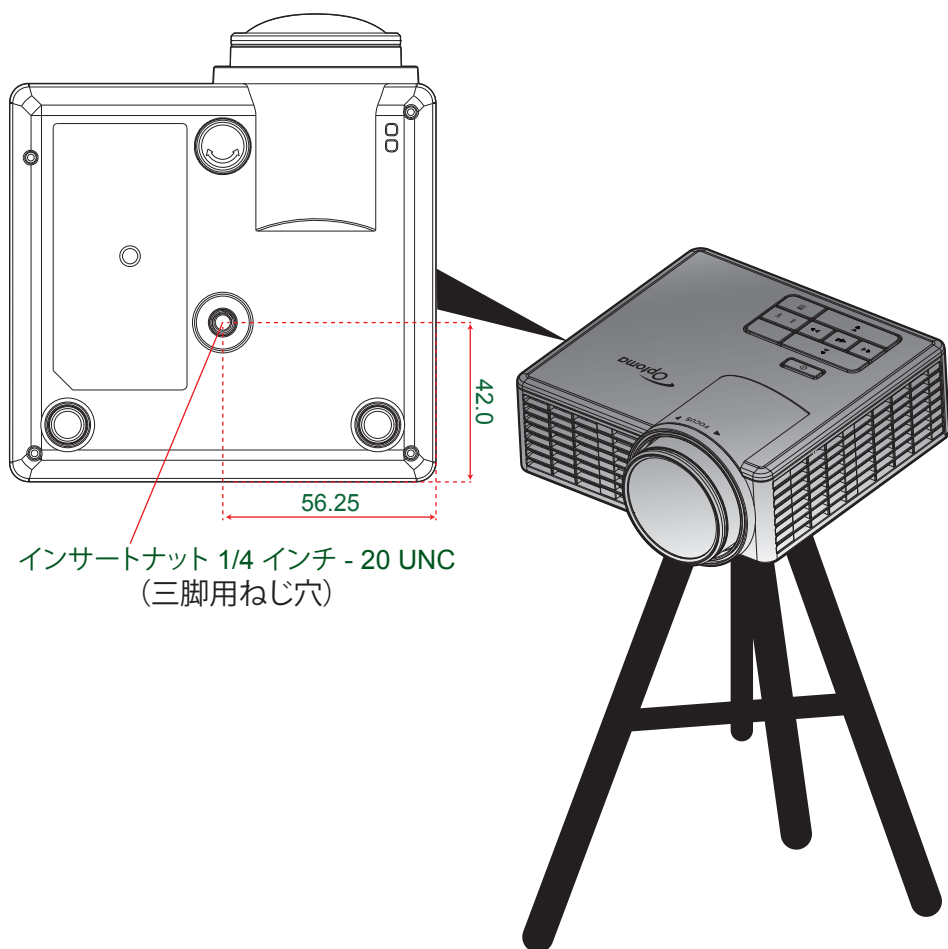
メモ: (*) TI DLP 3D 用 3D タイミング。

プロジェクタの三脚への設置

プロジェクタのねじ穴に標準的な三脚をねじで取り付けます。

メモ: 設置を誤って損傷した場合は保証の対象外になることにお気をつけください。

単位:mm



インサートナット 1/4 インチ - 20 UNC
(三脚用ねじ穴)

仕様

光学	説明
最大解像度	- 1080p の最大ビデオタイミング - WSXGA+ (1680 x 1050) @60Hz までのグラフィック
ライトニングソース	RGB LED (LED 寿命 = 20,000 時間)
レンズ	手動フォーカス
イメージサイズ (対角)	- 25 インチ ~ 200 インチ (ME 移動を含む) - 50 インチ ~ 100 インチ (60 インチイメージサイズでの最適なフォーカス範囲)
投射距離	- 0.43 m ~ 3.44 m (ME 移動を含む) - 0.86 m ~ 1.72 m (60 インチイメージサイズでの最適なフォーカス範囲)

電気	説明
入力	- ユニバーサル VGA 入力 x1 (特殊ケーブルでの使用)、 - HDMI/MHL 入力 x1、 - USB-A x 1、マイクロ SD x 1
出力	ヘッドフォン出力 x1
色再現	1670 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 15.375 ~ 79.796 KHz - 垂直スキャン速度: 24 ~ 75 Hz (3D 機能プロジェクターの場合、120Hz)
内蔵スピーカー	対応、1.5 W (アンプ)
電力要件	AC アダプタ、入力 100 - 240 V AC 50/60Hz、出力 19 V DC (プロジェクタへ)、スタンバイモード <= 0.5W
入力電流	AC 入力 1.5 A (DC 入力 3.42 A) 最大

マルチメディア	説明
FW ベース	Linux 類似 OS
USB-A ポート	- USB ストレージディスク (USB 2.0 対応、 最大 64 GByte) 用ホストモードをサポート。 - Wi-Fi ドングルをサポート - 3C 機器用 5V/0.5A 電源をサポート
マイクロ SD スロット	- マイクロ SD および SDHC カード (最大 32 GByte) をサポート - SDXC および UHS-I カードタイプは未サポート

機械	説明
取り付け方向	机上/正面、机上/裏面
寸法	112.5 x 105 x 40.5 mm (レンズリングおよびゴム製足なし)
質量	0.45 kg
環境条件	動作: ブライトモードおよびエコモードで 5 ~ 40 °C、湿度 10 % ~ 85 % (結露なし)

※モ: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

